

令和 7 年 度

工事番号 平 土 第 26 号

枇杷田橋橋梁補修工事

平 川 市 柏 木 町 地 内

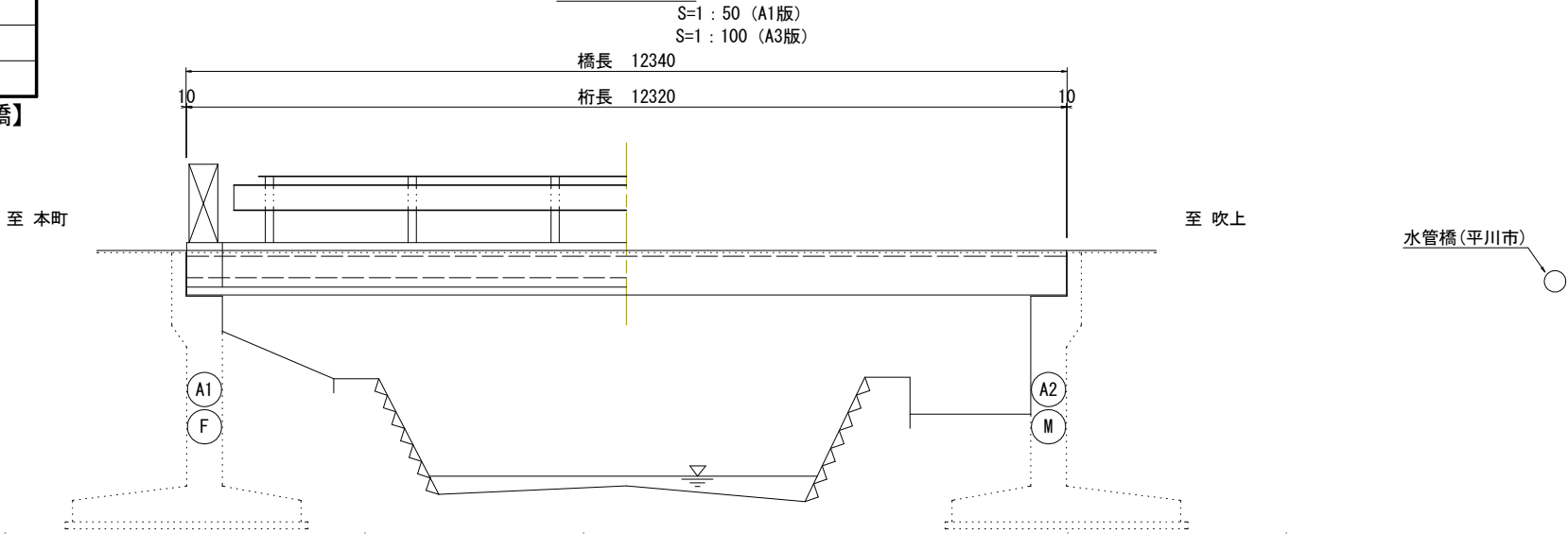
実 施 設 計 縮 小 図 面

平 川 市 建 設 部 建 設 課

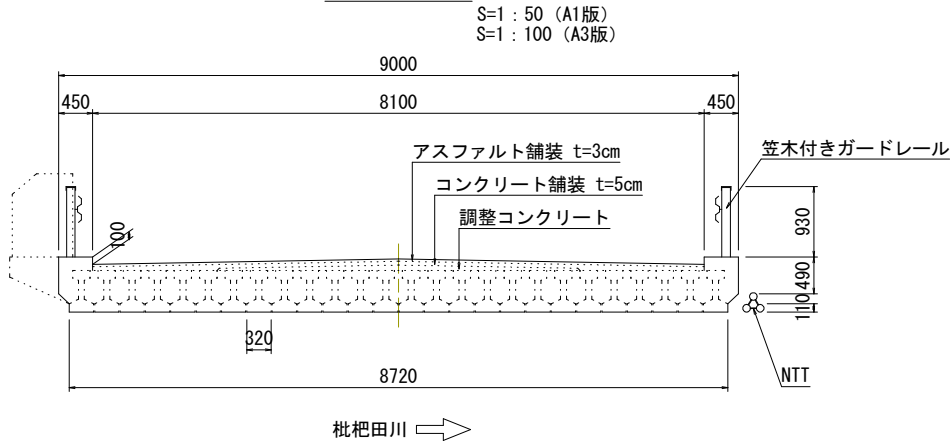
令和7年度			枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号		第 号			
路線名		吹上本町線			
施行箇所		平川市柏木町東田 地内			
現橋一般図			縮尺 図 示		
図面番号		葉中			
平 川 市					
青 森 県					

【枇杷田橋】

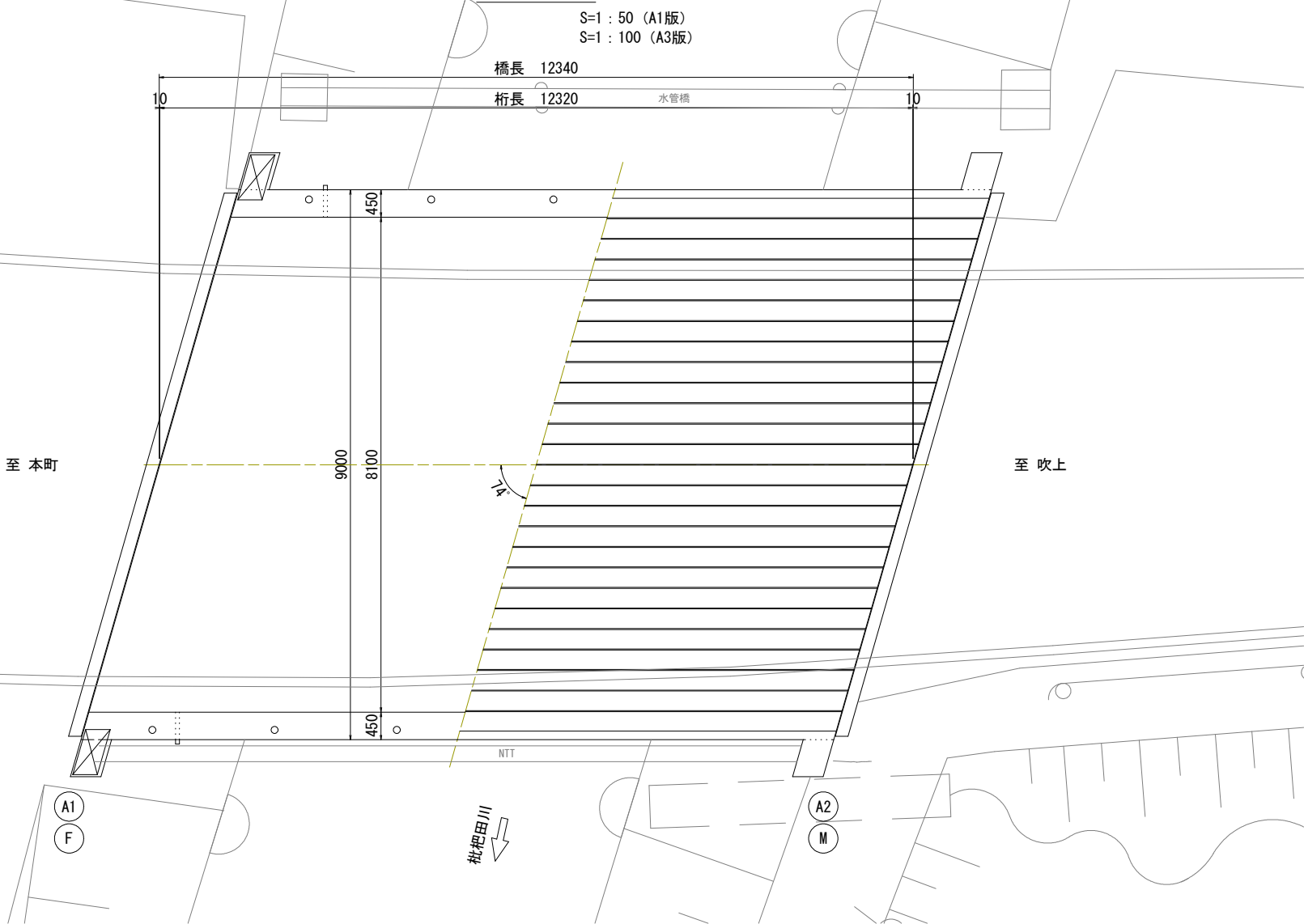
側 面 図



断 面 図



平 面 図



橋 梁 諸 元	
路 線 名	吹上本町線 ※起点：本町側
架 橋 条 件	枇杷田川 (管理者：青森県)
竣 工 年 月	昭和49年1月(1974年) → 橋齢約50年
橋 長	BL=12.340m
桁 長	GL=12.320m
有 効 幅 員	8.100m
全 幅	車道8.100m+地覆幅0.450m×2=9.000m
斜 角	θ=74°
橋 格	不明
上部工形式	PCI桁
橋 面 舗 装	アスファルト舗装 t=3cm(オーバーレイ) コンクリート舗装 t=5cm
防 護 柵	笠木付きガードレール H=0.930m
伸 縮 装 置	エラストイト
支 承	エラストイト
下部工形式	逆T式橋台
基 礎 形 式	直接基礎
塩 害 対 策	対策地域外

令和7年度			枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号		第 号			
路線名 路 河 川		吹 上 本 町 線			
施行所 施 行 所		平川市柏木町東田 地内			
補修計画一般図		縮尺		図 示	
図面番号		業中			
平 川 市					
青 森 県					

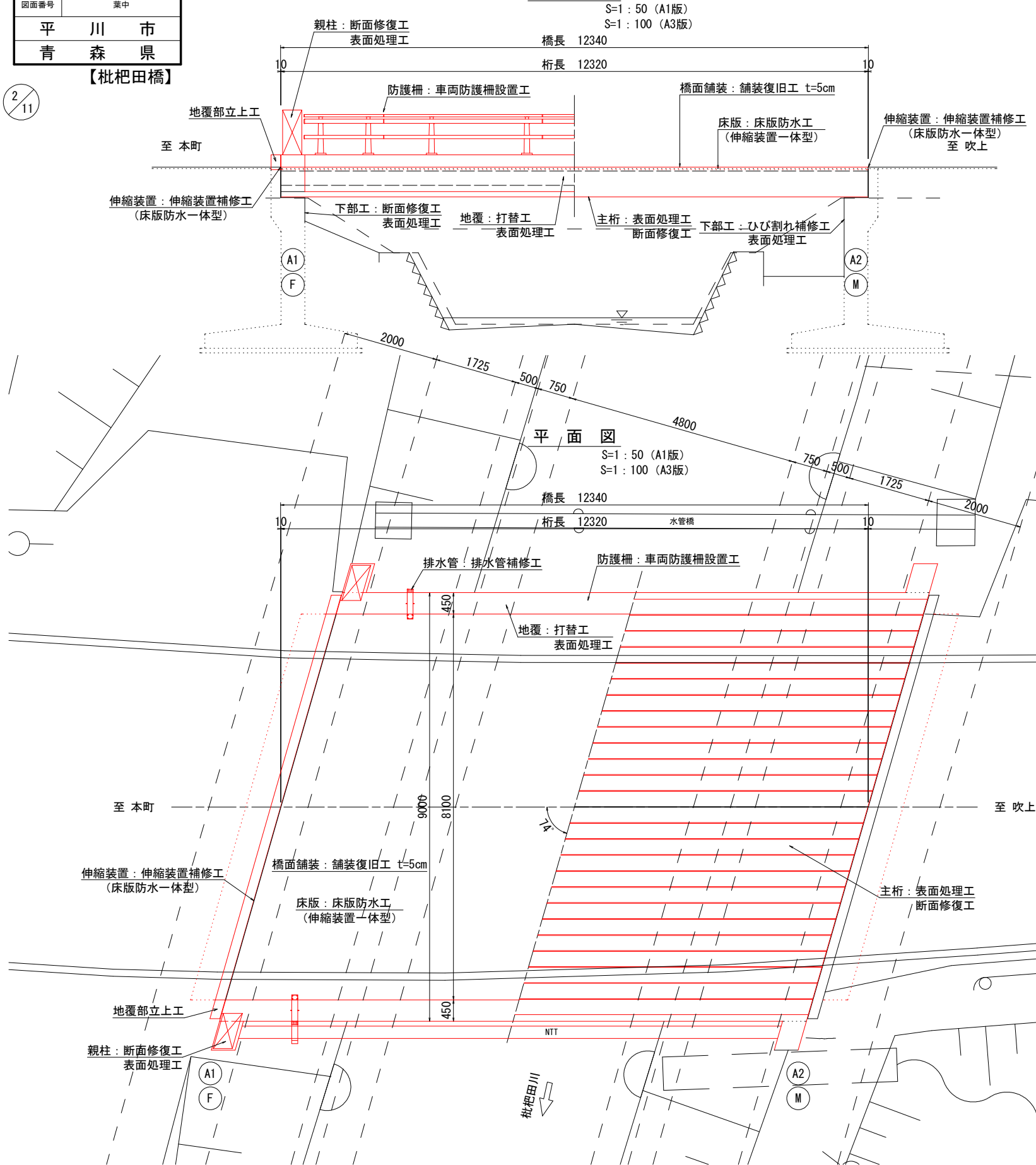
【枇杷田橋】

2
11

補修計画一般図

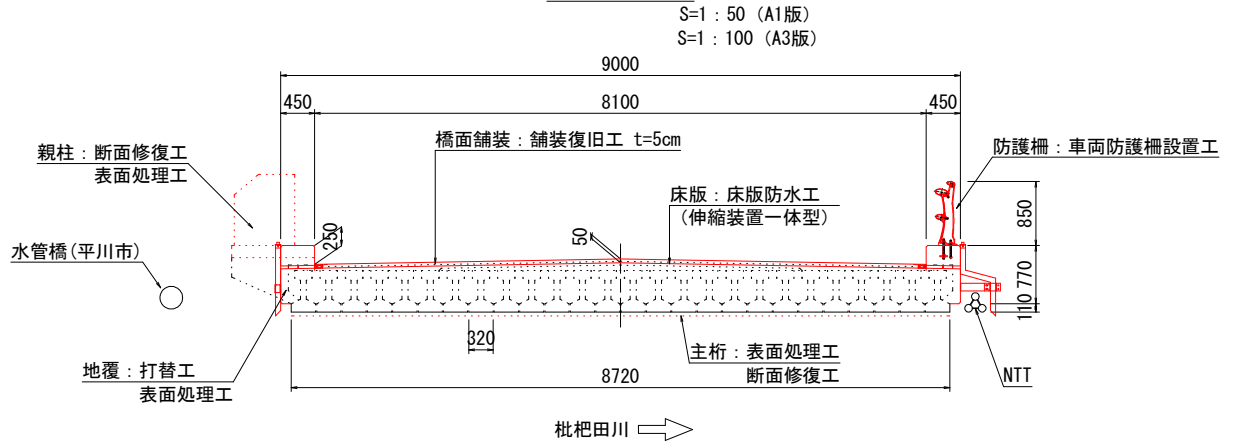
側面図

S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)



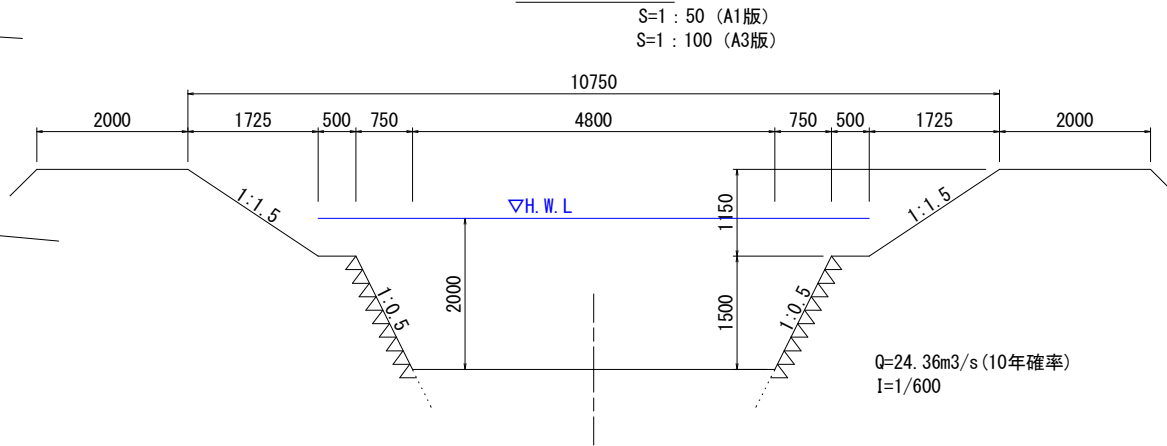
断面図

S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)



河川定規断面

S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)



補修計画一覧表

部 材 名	補 修 対 策	対 策 工 法	備 考
上 部 工	防護柵工	車両防護柵設置工	防護柵取替
	地 覆	打替工 表面処理工	充填工法 表面含浸工
	親 柱	断面修復工 表面処理工	左官工法 表面含浸工
	伸縮装置	伸縮装置補修工	シート貼ジョイント
	橋面舗装	舗装復旧工	改質アスファルト
	主 桁 (PCI桁)	床版防水工 断面修復工 表面処理工	塗膜系 左官工法 表面含浸工
下 部 工	排水装置	排水管補修工	排水管取替
	橋 台	地覆部立上工 断面修復工 表面保護工 ひび割れ補修工	充填工法 左官工法 表面含浸工 低圧注入工法

【枇杷田橋】

—

 $S =$

1E 11259



A

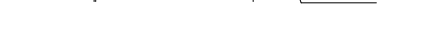
S=1:..



S=1 : 10
S=1 : 20

部

7



種別 C種	S=1:6
-------	-------

100 /

5)





55

220



1. 表

- 已知条件：上砂层 $\sigma_{11} = 24 \text{ kN/cm}^2$

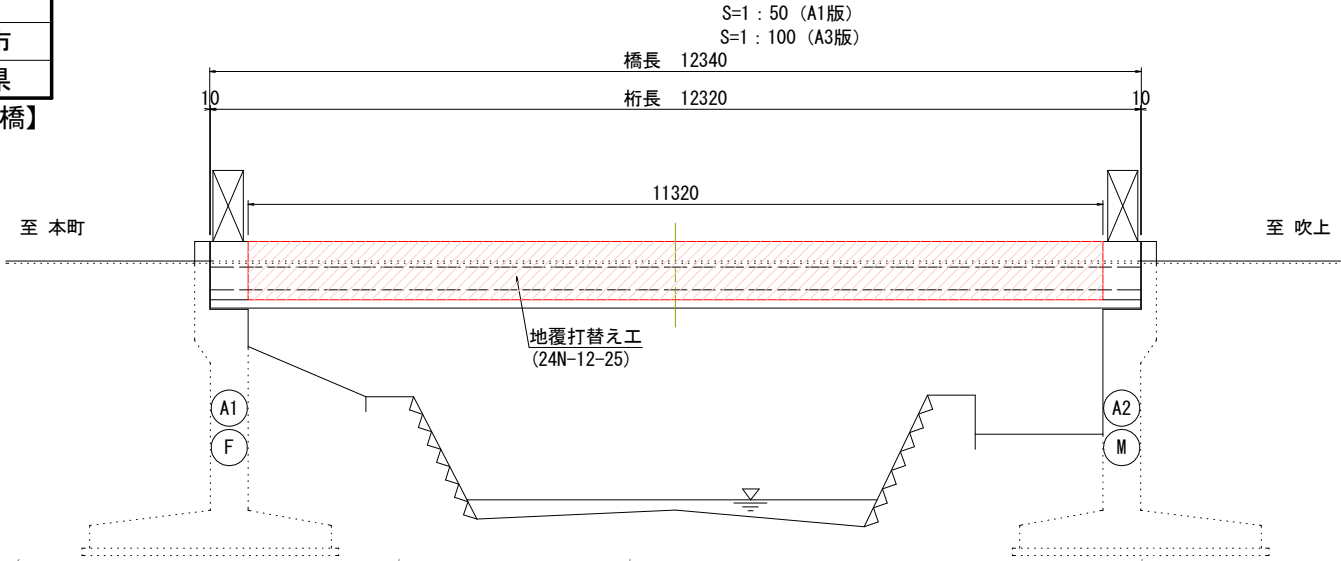
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$

令和7年度 枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号	第	号
路線名	吹上本町線	
施行所	平川市柏木町東田 地内	
地覆補修工詳細図	縮尺	図 示
図面番号	業中	
平	川	市
青	森	県
【枇杷田橋】		

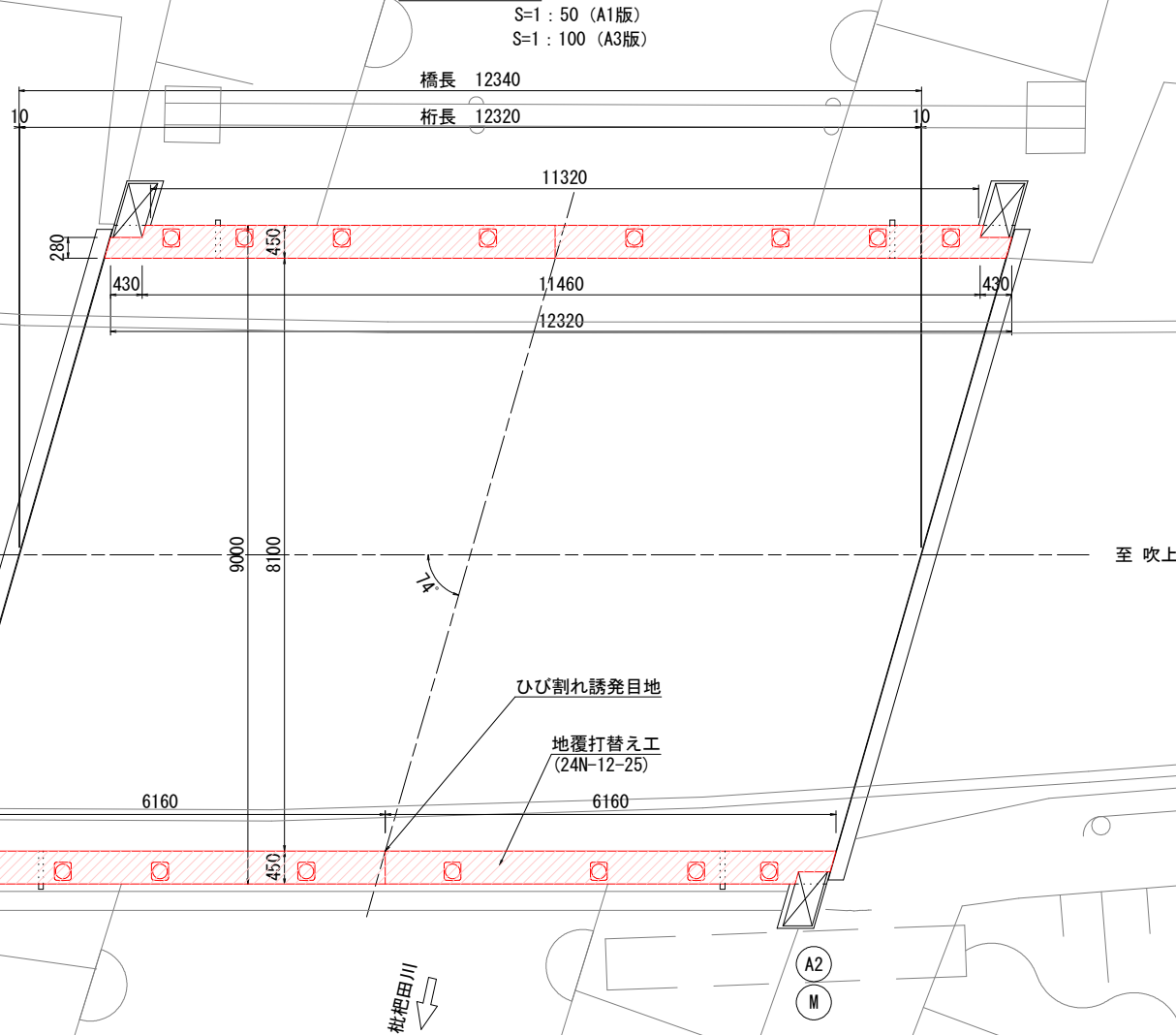
4
11

地覆補修工詳細図

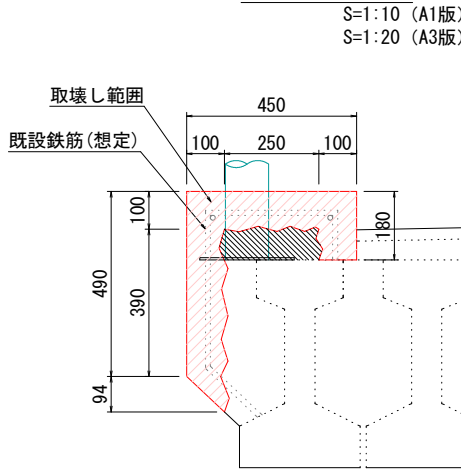
側面図



平面図

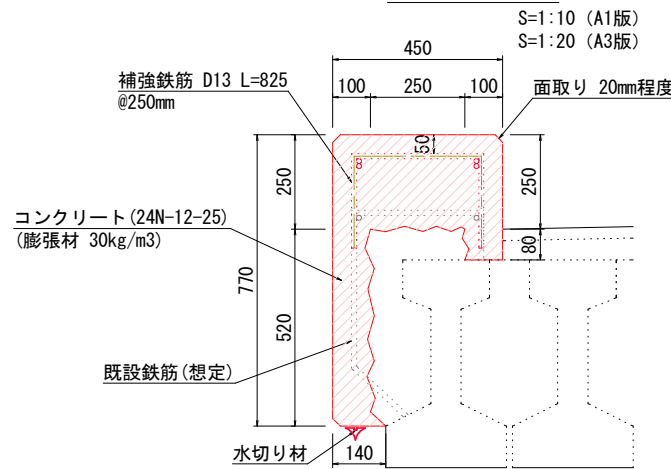


取壊し断面図



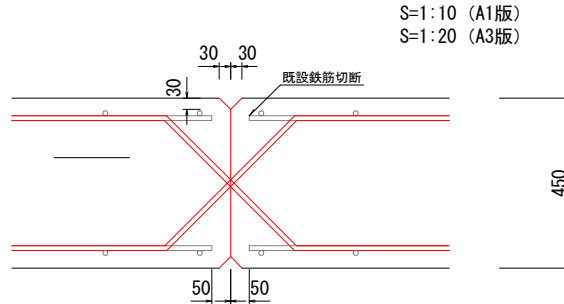
※防護柵支柱部は、アンカープレートの除去まで行うため、上図「黒着色斜線」部の取壊しも行う。
 $V=0.250 \times 0.080 \times 0.300=0.01\text{m}^3/\text{箇所}$

復旧断面図



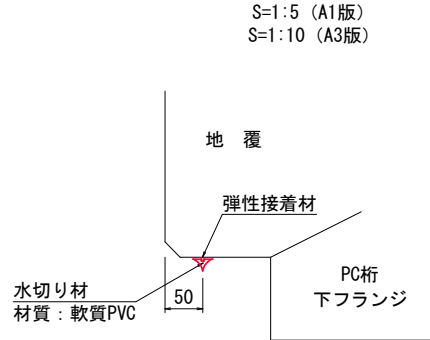
※鉄筋被りは50mm(想定)とした。
施工時被りを計測し鉄筋長等を決定すること。
露出した既設鉄筋は防錆処理を行うこと。

ひび割れ誘発目地・クロス筋設置図



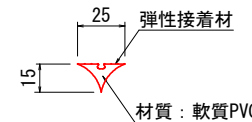
【ひび割れ誘発目地 留意事項】
1. 設置は、側面および天端とする。

水切り材詳細図



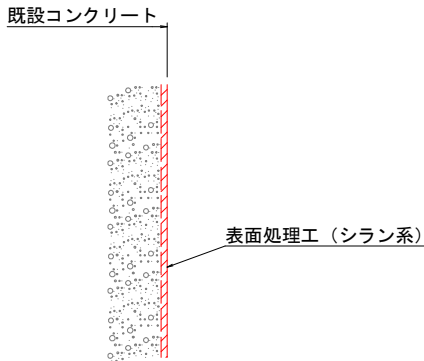
水切り材詳細図

(断面図) S=1:2



表面処理工詳細図

(シラン系)



【表面処理工 留意事項】

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
3. ジャンカ部等は表面を平滑後塗布する。
4. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは 噴霧機にて含浸させる。
5. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。

【水切り材 留意事項】

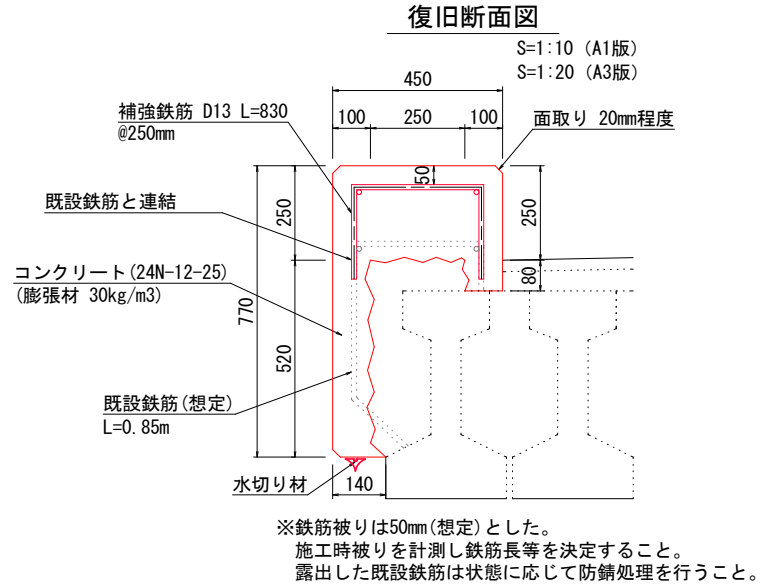
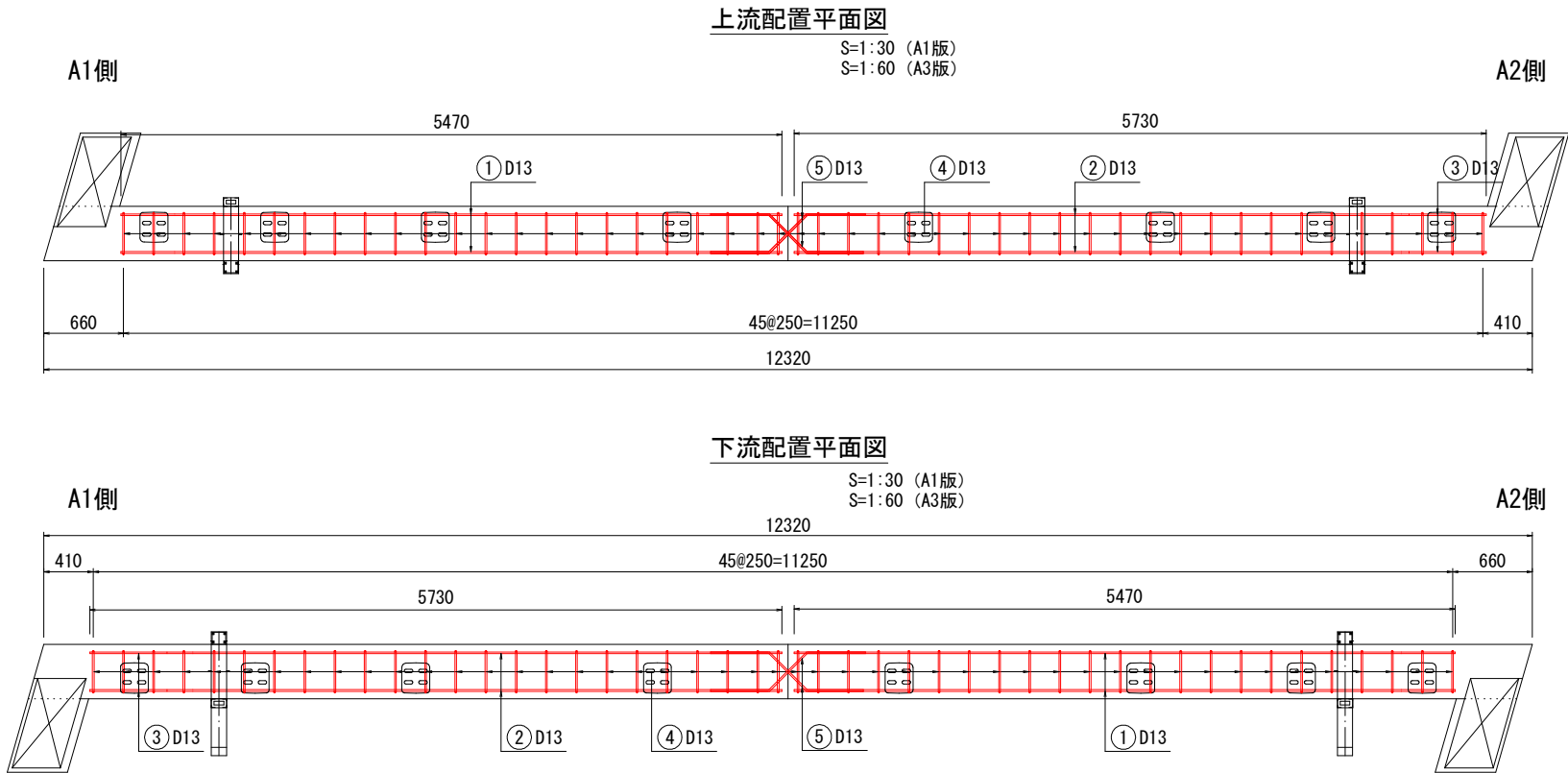
1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 下地処理の際、断面欠損部や脆弱部はポリマーセメントモルタルにて断面修復を行い豆板はモルタル左官にて充填し、平滑面を確保する。
3. 接着面の乾燥状態を確認した上で、施工を行う。
4. 図中詳細寸法等は、現地検測のうえ決定すること。

令和7年度 枇杷田橋橋梁補修工事			
工事番号		第 号	
路線名 路 河 川		吹 上 本 町 線	
施行所 施 行 箇 所		平川市柏木町東田 地内	
地覆配筋図(参考図)		縮尺	図 示
図面番号		葉中	
平 川 市			
青 森 県			

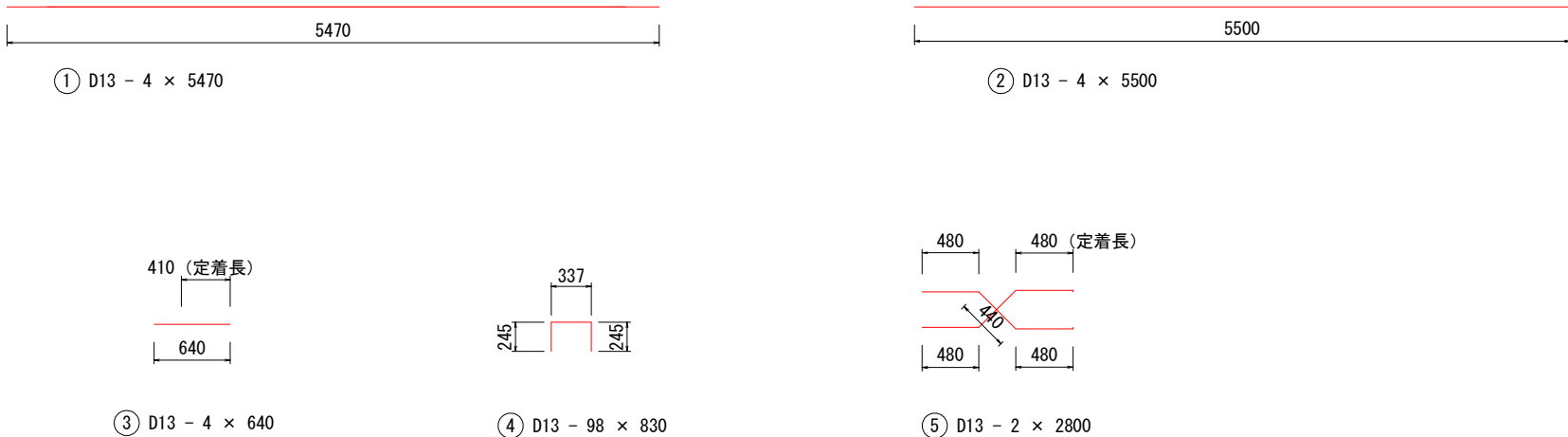
【枇杷田橋】



地覆配筋図(参考図)



鉄筋加工図



※定着長480mm (エポキシ樹脂塗装すること)

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1橋当り		
					一本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	備 考
①	D13	5470	4	0.995	5.44	21	
②	D13	5500	4	0.995	5.47	21	
③	D13	640	4	0.995	0.64	2	
④	D13	830	98	0.995	0.83	81	
⑤	D13	2800	2	0.995	2.79	5	エポキシ樹脂塗装
(SD345) D13					合計	125 kg	
(SD345) D13 エポキシ樹脂塗装					合計	5 kg	

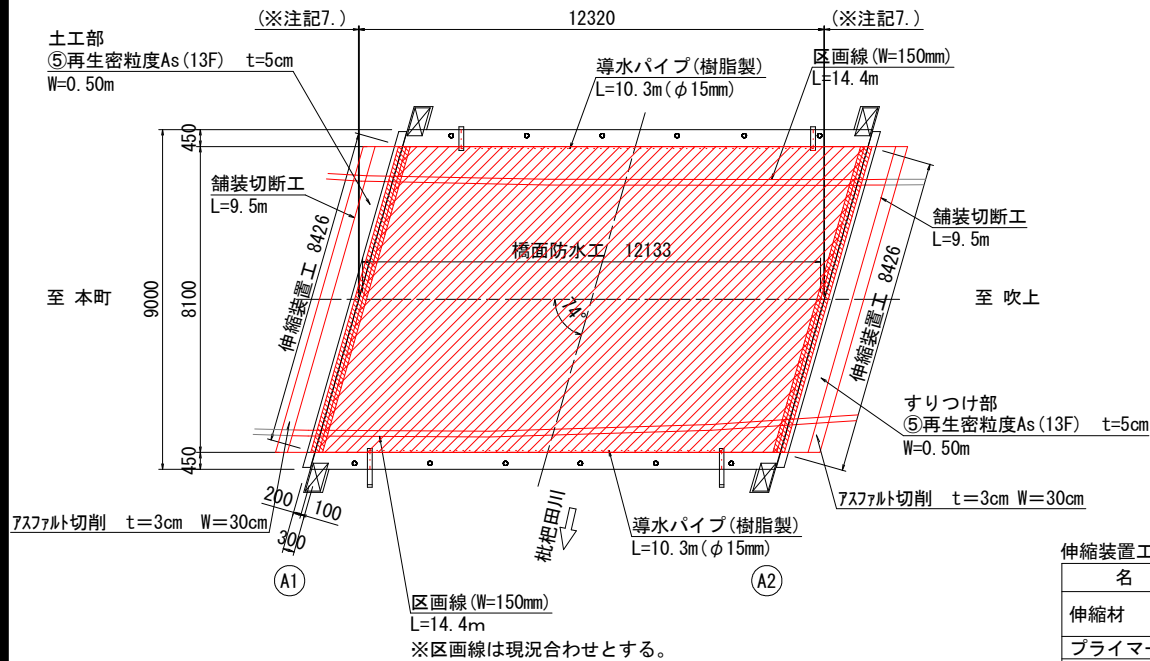
※既設鉄筋ピッチが不明のため標準ピッチ (@250mm) で計画した。
新設構造物に支障がある場合は、樹脂アンカー等を用いる等
適宜位置を変更すること。(要協議)

令和7年度			枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号		第 号			
路線名 路 河 川		吹 上 本 町 線			
施行所 施 工 所		平川市柏木町東田 地内			
床版防水補修工詳細図			縮尺 図 示		
図面番号		業中			
平 川 市					
青 森 県					

【枇杷田橋】

平面図

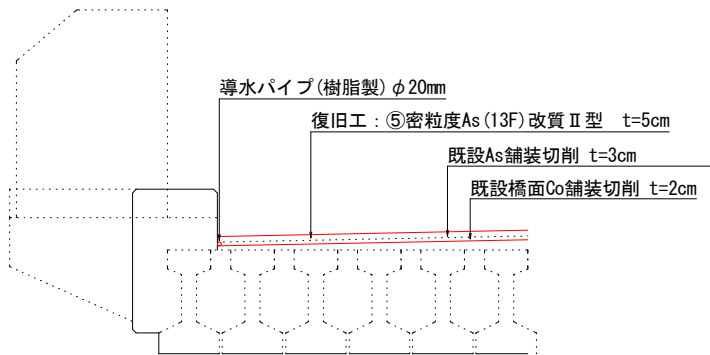
S=1:100 (A1版)
S=1:200 (A3版)



記号	名称	計算式	単位	数量
	伸縮装置工	8.426×8.426	m	16.852
	橋面防水工	12.133×8.100	m ²	98.28

舗装断面図

S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)

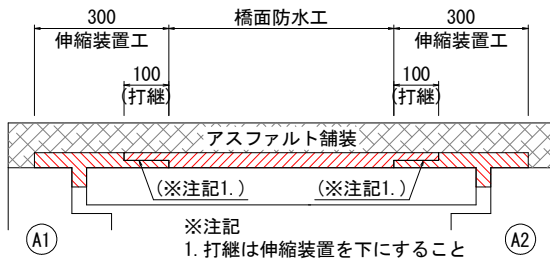


床版防水補修工詳細図

伸縮装置及び床版防水の一体化工法

伸縮装置及び床版防水の一体化工法詳細図

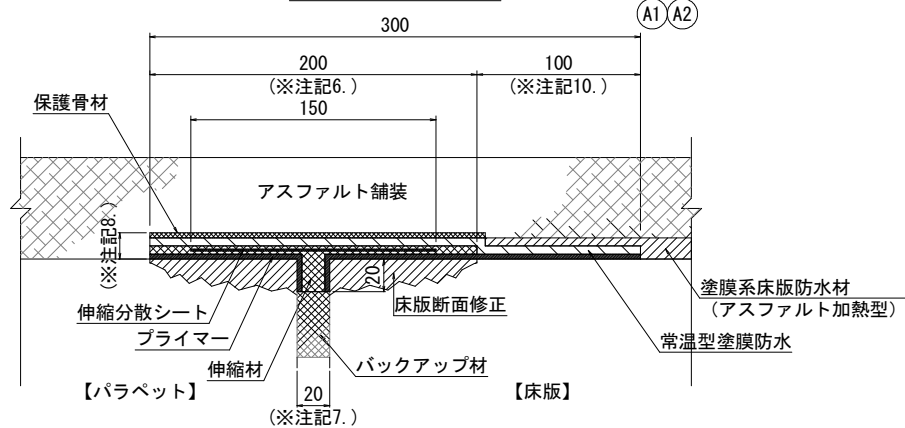
一体化構造図 (側面図)



一体化構造図詳細

記号	名称	※ 注 記 ※
	伸縮装置工	伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。 伸縮装置工の範囲 (W=300) は常温型塗膜防水材を使用すること
	橋面防水工	橋面防水には、塗膜系床版防水材 (アスファルト加熱型) 或いは、常温型塗膜防水材のみ使用可能

伸縮装置工断面図



伸縮装置工材料表 <補修>

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
伸縮材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.00	α25%含む
プライマー	シリコーン系化合物	kg	0.058	α20%含む
伸縮分散シート	アスファルトメッシュシート	m	1.10	α10%含む
バックアップ材	汎用ウレタンフォーム	m	0.55	α10%含む
常温型塗膜防水材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	0.45	α25%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.16	α10%含む

※伸縮材は常温型塗膜防水と一体化する同系材料。
※常温型塗膜防水材は伸縮装置と一体化する同系材料。
※バックアップ材は2m/本を適宜切断して4mの施工に使用する。

橋面防水工詳細図

防水材適用表

種 類	適 応
常温型塗膜防水	可 (推奨)
塗膜系床版防水材 (アスファルト加熱型)	可
シート系防水	不可
塗膜系ゴム溶剤型	不可
塗膜系反応樹脂型	不可

※上記に記載の無い防水材は適用不可。

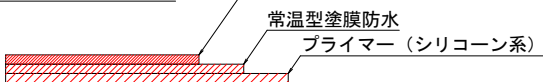
橋面防水工材料表<補修>

塗膜系床版防水材 (アスファルト加熱型)		1m ² 当たり
名 称	材 質	単 位 数 量 備 考
防水材	当該製品の仕様に従うこと	
プライマー		
保護骨材		

常温型塗膜防水材

名 称	材 質	単 位	数 量	備 考
常温型塗膜防水材	主 剤：ゴムアスファルト乳剤 硬化剤：ウレタン樹脂化合物	kg	1.50	α25%含む
プライマー	シリコーン系化合物	kg	0.18	α20%含む
保護骨材	珪砂4号	kg	0.77	α10%含む

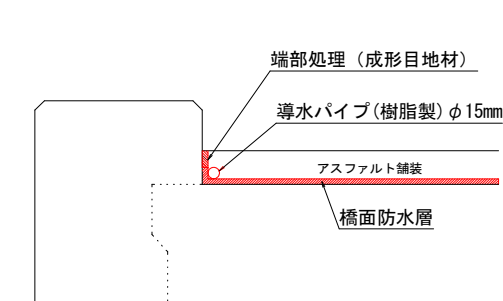
常温型塗膜防水層構成図



※注記

- 伸縮装置工の数量は、調査結果を元に算出している。施工に際しては現場状況に合わせて適宜変更のこと
- 伸縮性及び止水性を有する処理を目的とするため、伸縮性を確認できる材料を選定のこと
下記に参考仕様を示す
- 伸縮剤は、現場条件への対応性が良好なことから、ウレタン系ゴムアスファルト乳剤を選定している
- 伸縮剤との一体化のため、常温型塗膜防水の材料にはウレタン系ゴムアスファルト乳剤を必ず使用すること
- 床版断面修正の適用範囲はw200, t=30mmまでとする
- 設置面 (W=200) の遊間両端のレベル差は0に不陸修正すること
- 既設遊間幅が適用範囲外の場合は、適用範囲まで遊間幅を調整すること ※適用範囲：20mm~10、+4mm
- 断面図の厚み (t) は視認性を優先し、正確な数値 (t) を表さないことに注意すること
- W=300に使用する防水材は、常温型塗膜系防水材を指定とする
- 打継は伸縮装置を下にすること、
打継部の常温型塗膜防水の上面 (打継面) は保護骨材およびプライマーは塗布しないこと。

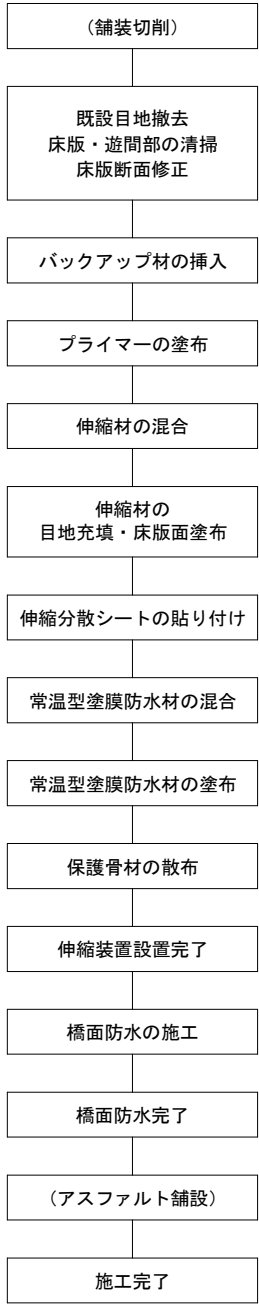
防水層端部処理



※注記
橋面防水層の端部処理は別途排水計画に基づき設計した排水資材を選定しその配置を定めること。

※施工前、各工種とも現地詳細調査を実施し施工寸法及び数量を確定すること。

施工フロー図



令和7年度			枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号		第 号			
路線名 路 綫 河 川		吹 上 本 町 線			
施行所 施 工 所		平川市柏木町東田 地内			
排水装置補修工詳細図			縮尺 図 示		
図面番号		業中			
平 川 市					
青 森 県					

【枇杷田橋】

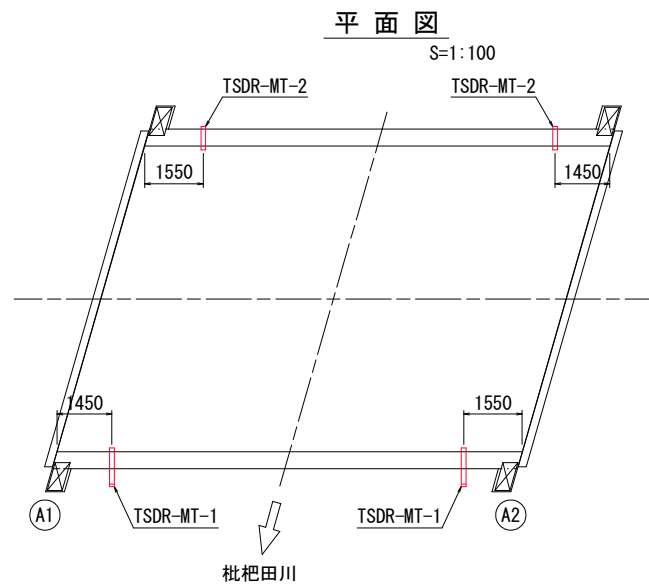
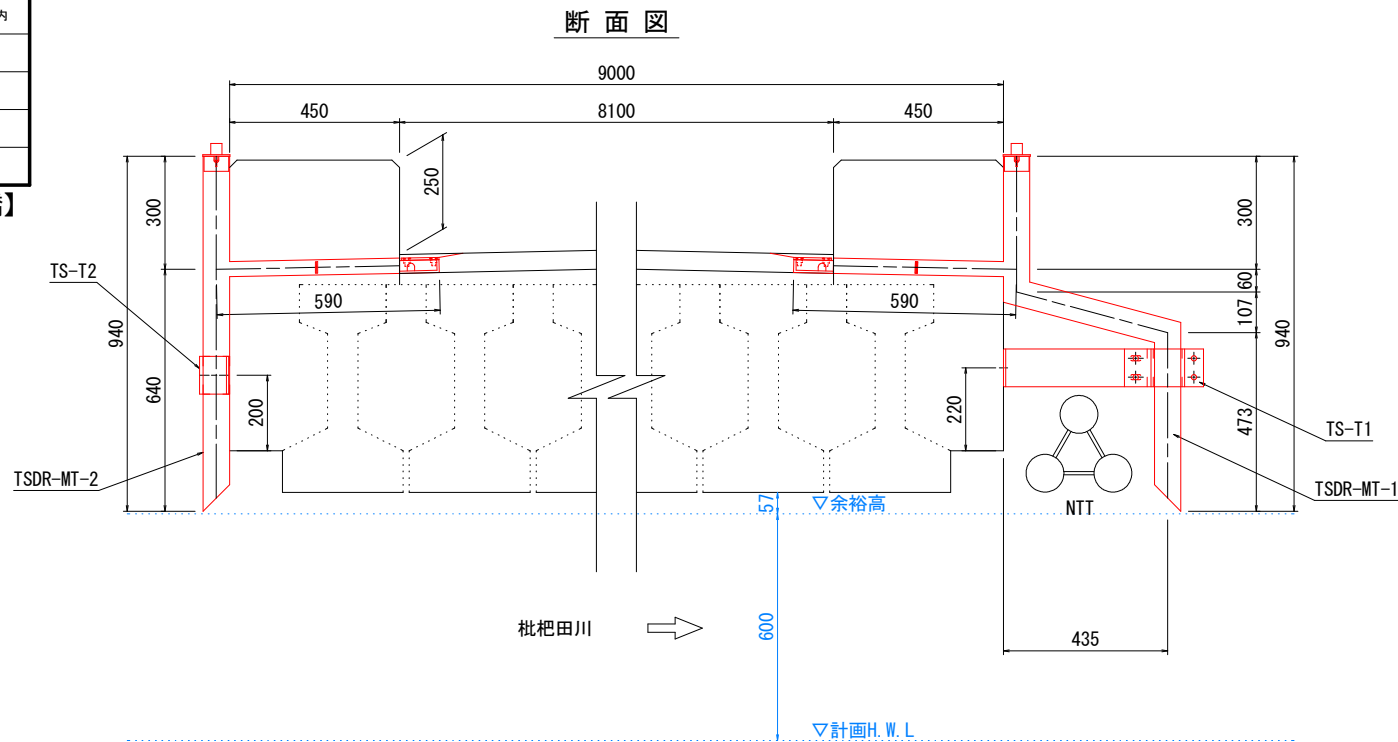
7/11

排水装置補修工詳細図

(参考図：TSステンレス排水装置)

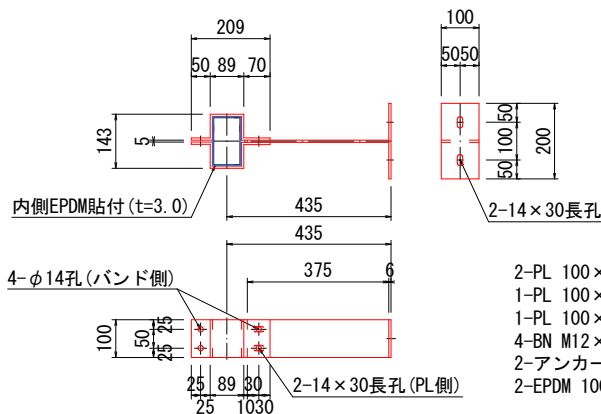
S=1:10 (A1版)

S=1:20 (A3版)



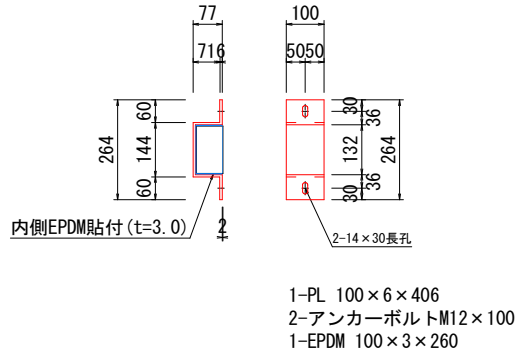
取付金具詳細図

TS-T1
製作数=1



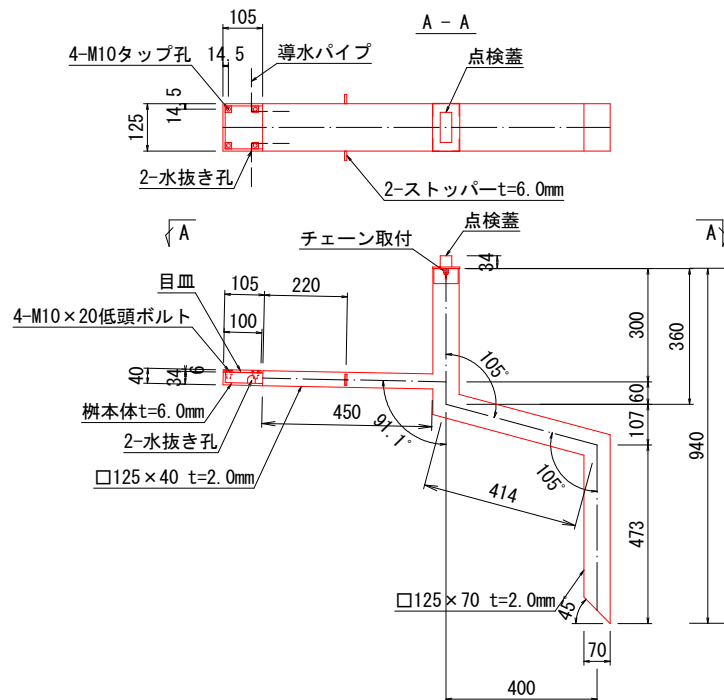
取付金具詳細図

TS-T2
製作数=1



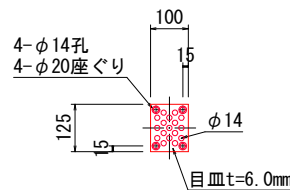
TSステンレス排水樹詳細図

地覆部貫通型 角管仕様
TSDR-MT-1
製作数=1



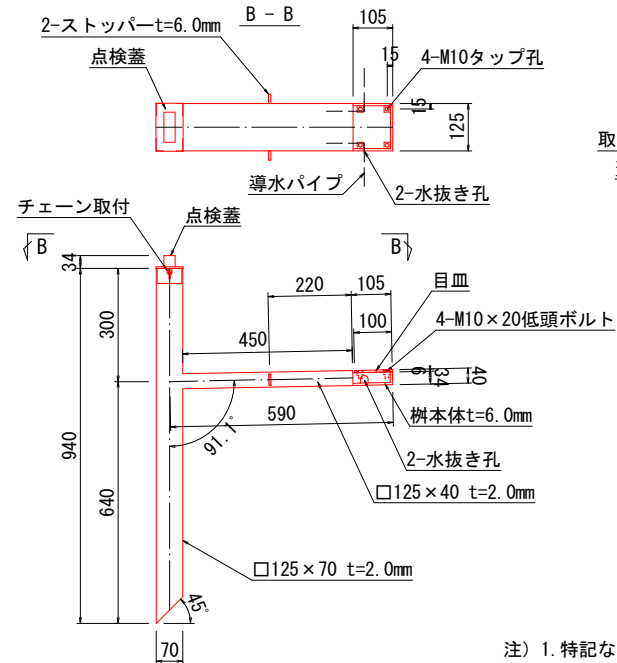
目皿詳細図

(共通)



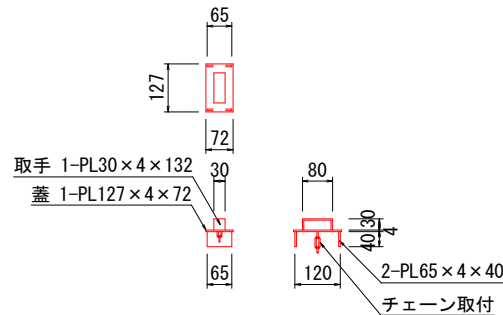
TSステンレス排水樹詳細図

地覆部貫通型 角管仕様
TSDR-MT-2
製作数=1



点検蓋詳細図

(共通)



- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
4. 地覆鉄筋に干渉する場合は、協議後設置位置を決定する。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

令和7年度				枇杷田橋橋梁補修工事			
工事番号		第		号			
路線名		吹上本町線					
施行箇所		平川市柏木町東田 地内					
主桁補修工詳細図				縮尺		図 示	
図面番号		業中					
平		川		市			
青		森		県			

【枇杷田橋】

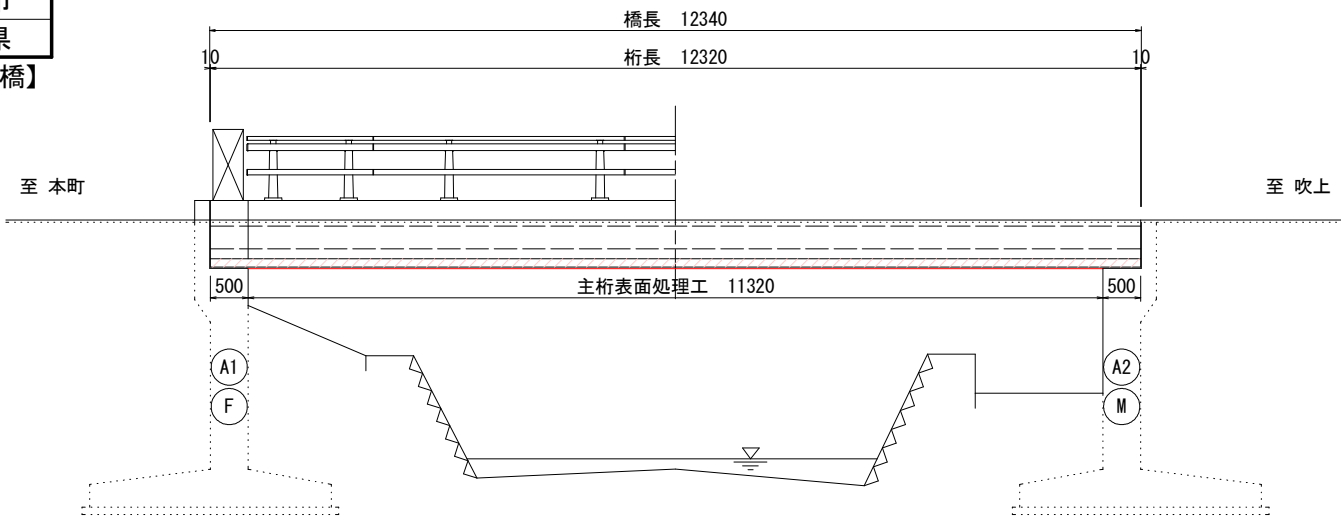
8/11

主桁補修工詳細図

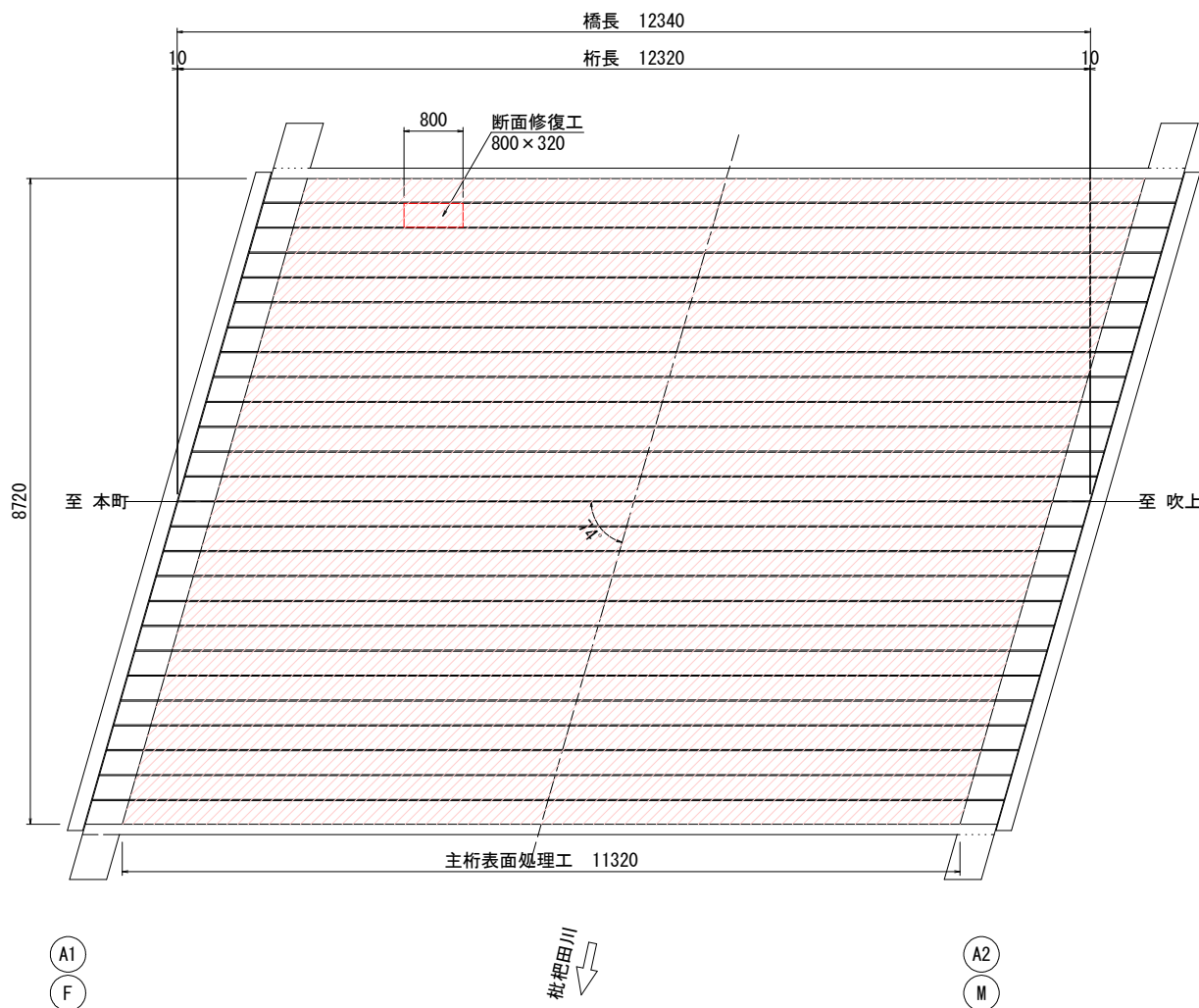
S=1:50 (A1版)

S=1:100 (A3版)

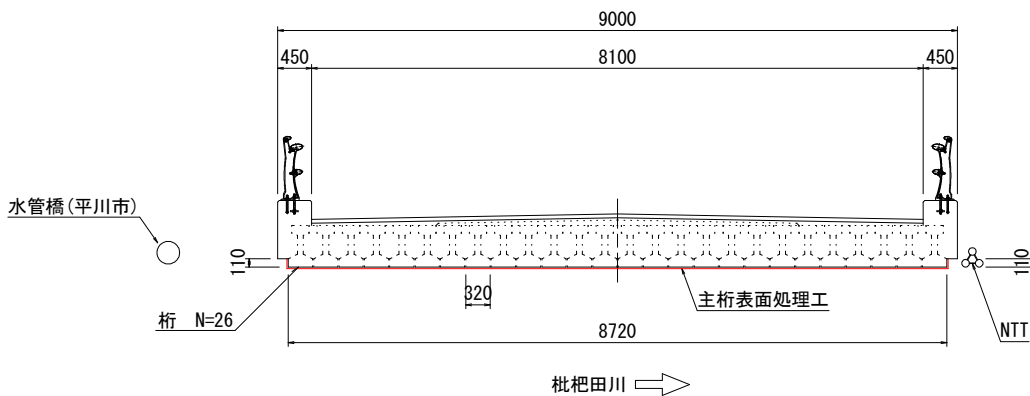
側 面 図



平 面 図

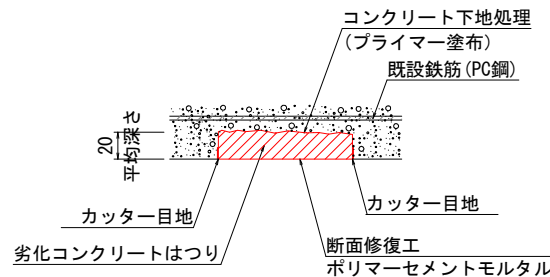


断 面 図



断面修復工詳細図

(鉄筋防錆処理 無)

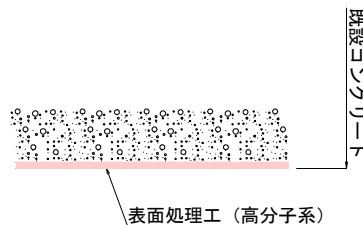


【断面修復工 留意事項】

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. はつり処理にあたり既設面との境界部がフェザーエッジにならないようディスクカッターで10～20mm程度の切込みを入れる。
3. 劣化部をはつた際、既設鉄筋が見られた場合は、確実に防錆処理を行う。
4. 表記以外の損傷箇所が確認された場合は、補修範囲について協議を行う。

表面処理工詳細図

高分子系



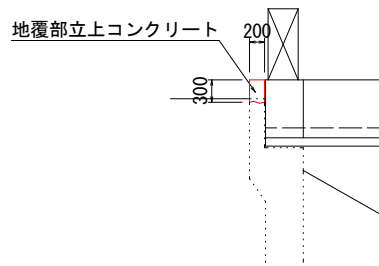
【表面処理工 留意事項】

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
3. ジャンカ部等は表面を平滑後塗布する。
4. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは 噴霧機にて含浸させる。
5. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。

令和7年度			枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号		第 号			
路線名		吹上本町線			
施行所		平川市柏木町東田 地内			
下部工補修工詳細図			縮尺		図 示
図面番号		業中			
平 川 市					
青 森 県					

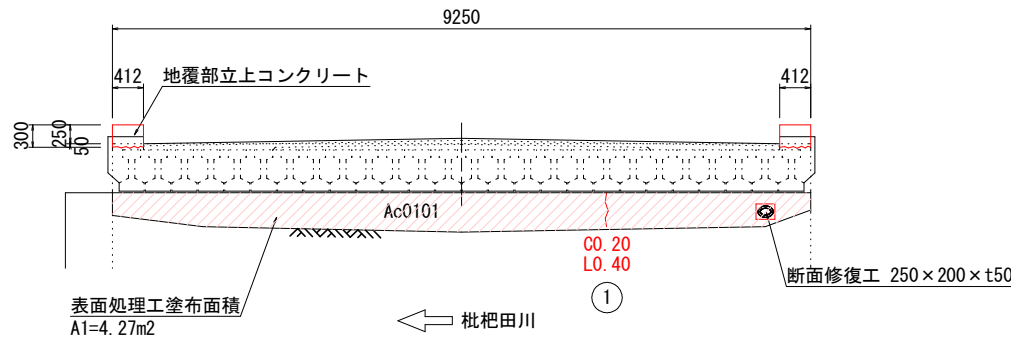
【枇杷田橋】

側面図(下流)

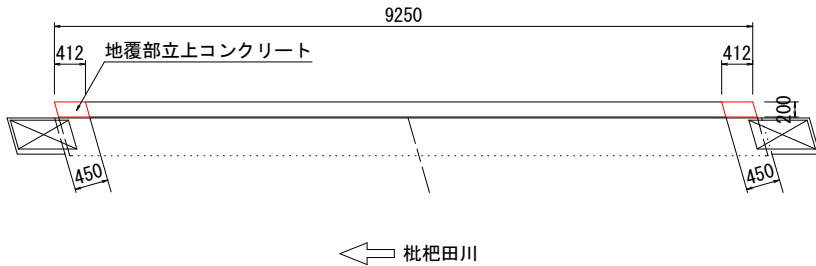


A 1 橋 台

正 面 図

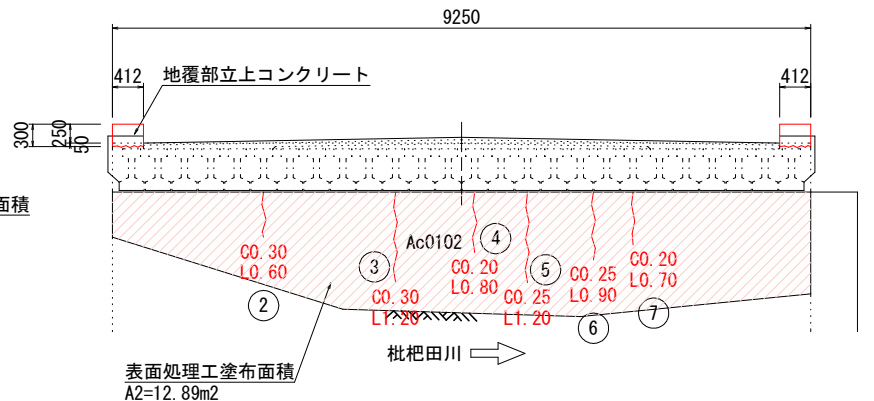


平 面 図

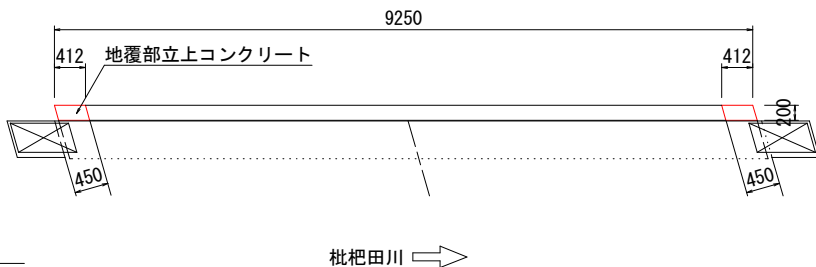


A 2 橋 台

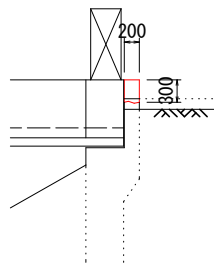
正 面 図



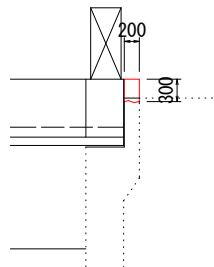
平 面 図



側面図(上流)



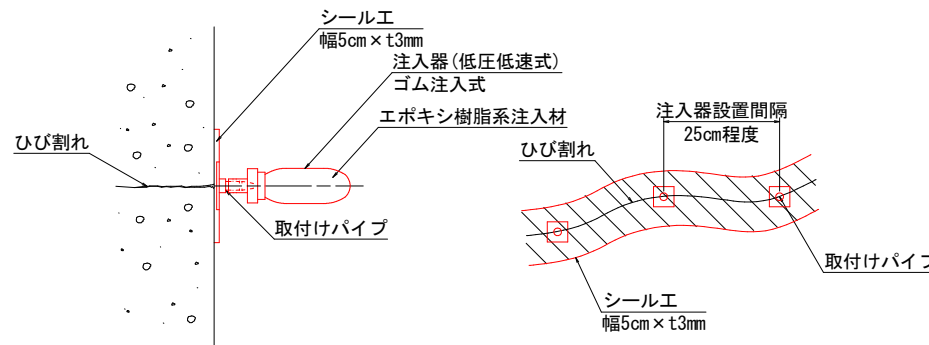
側面図(下流)



下部工補修工詳細図

S=1:50 (A1版)
S=1:100 (A3版)

ひび割れ注入工詳細図

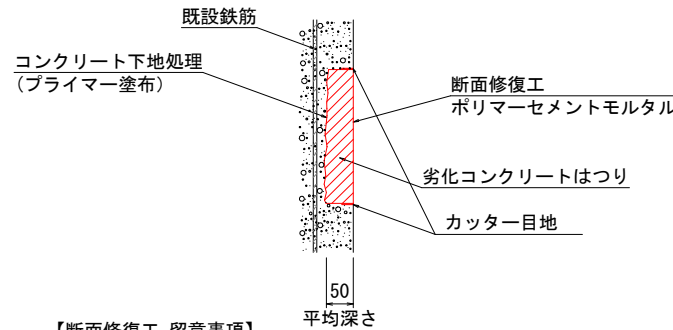


【ひび割れ注入工 留意事項】

- 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
- 表記以外の損傷箇所が確認された場合は、補修について協議を行い判定する。

断面修復工詳細図

(鉄筋防錆処理 無)



【断面修復工 留意事項】

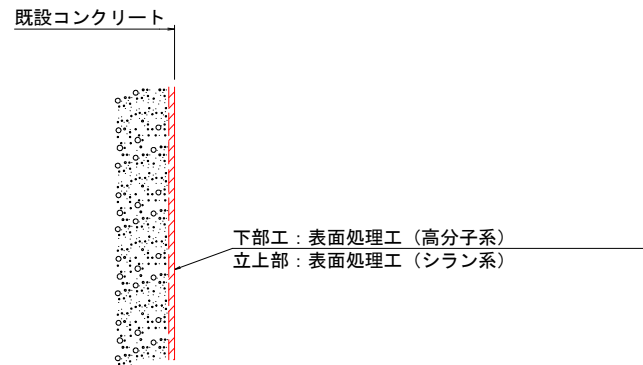
- 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
- はつり処理にあたり既設面との境界部がフェザーエッジにならないようディスクカッターで10～20mm程度の切込みを入れる。
- 劣化部をはつた際、既設鉄筋が見られた場合は、確実に防錆処理を行う。
- 表記以外の損傷箇所が確認された場合は、補修範囲について協議を行う。

CO. 3	
番号	延長
②	0.60
③	1.20
計	1.80

CO. 25	
番号	延長
⑤	1.20
⑥	0.90
計	2.10

CO. 2	
番号	延長
①	0.40
④	0.80
⑦	0.70
計	1.90

表面処理工詳細図

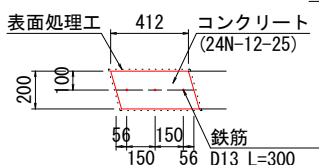


【表面処理工 留意事項】

- 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
- 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
- ジャンカ部等は表面を平滑後塗布する。
- 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは 噴霧機にて含浸させる。
- 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。

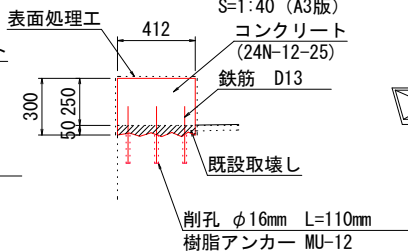
地覆部立上平面図

S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



地覆部立上正面図

S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)

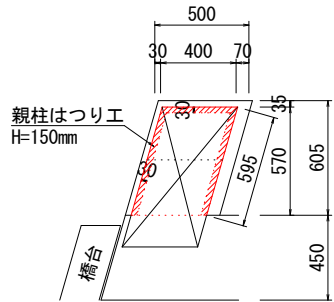


令和7年度			枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号		第 号			
路線名		吹上本町線			
施行箇所		平川市柏木町東田 地内			
親柱補修工詳細図			縮尺 図 示		
図面番号		業中			
平		川		市	
青		森		県	

【枇杷田橋】

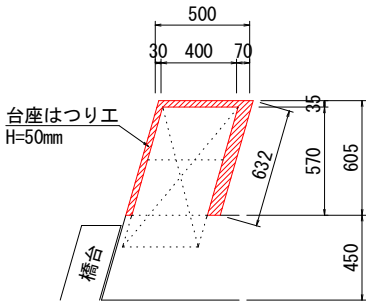
親柱平面図

(代表断面 A1上流) S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



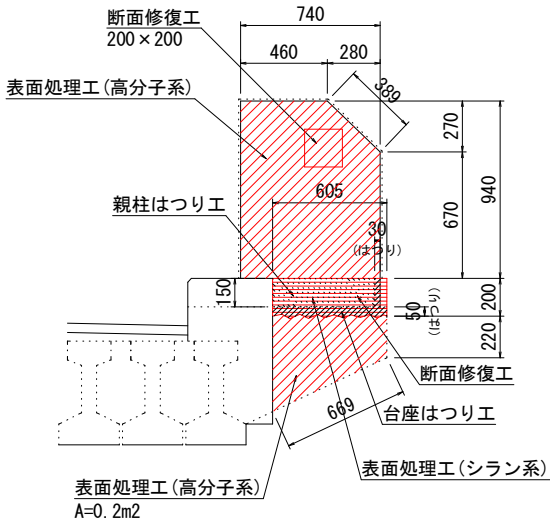
台座平面図

(代表断面 A1上流) S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



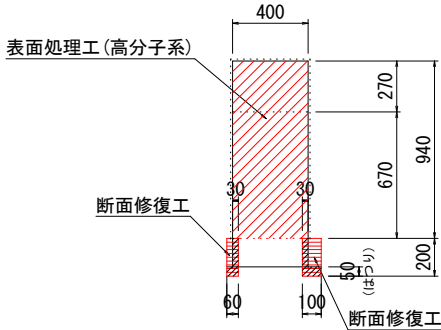
正面図

(代表断面 A1上流) S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



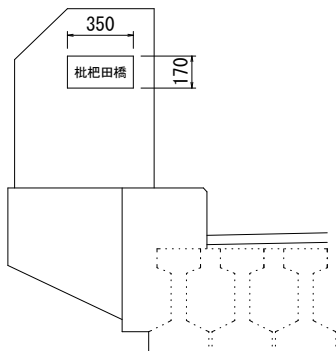
断面図

(代表断面 A1上流) S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)



プレート位置図

(代表断面 A1上流) S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)

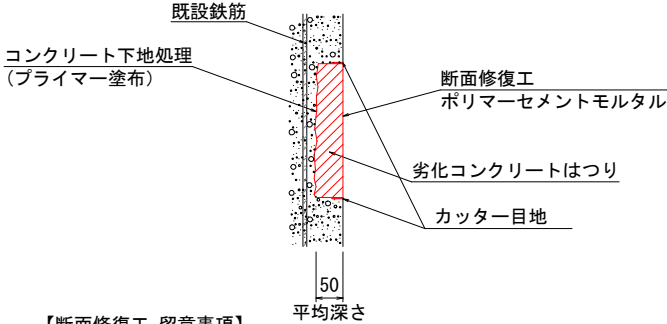


親柱補修工詳細図

S=1:20 (A1版)
S=1:40 (A3版)

断面修復工詳細図

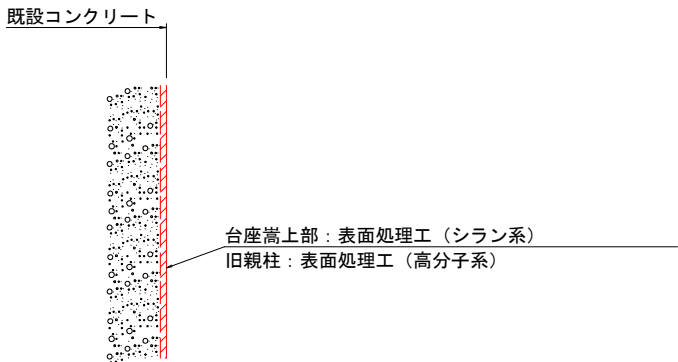
(鉄筋防錆処理 無)



【断面修復工 留意事項】

1. 図中、詳細寸法等は現地検測のうえ決定すること。
2. はつり処理にあたり既設面との境界部がフェザーエッジにならないようディスクカッターで10～20mm程度の切込みを入れる。
3. 劣化部をはつた際、既設鉄筋が見られた場合は、確実に防錆処理を行う。
4. 表記以外の損傷箇所が確認された場合は、補修範囲について協議を行う。

表面処理工詳細図



【表面処理工 留意事項】

1. 既設コンクリートの塗布面は、下地処理を行い汚れや付着物を除去する。
2. 断面欠損部や脆弱部等は断面修復工を行う。
3. ジャンカ部等は表面を平滑後塗布する。
4. 塗布面の乾燥状態を確認した上で、ローラーハケまたは 噴霧機にて含浸させる。
5. 施工時は周囲に飛散しないよう、作業完了後(24時間)は降雨にさらされないよう養生を行う。

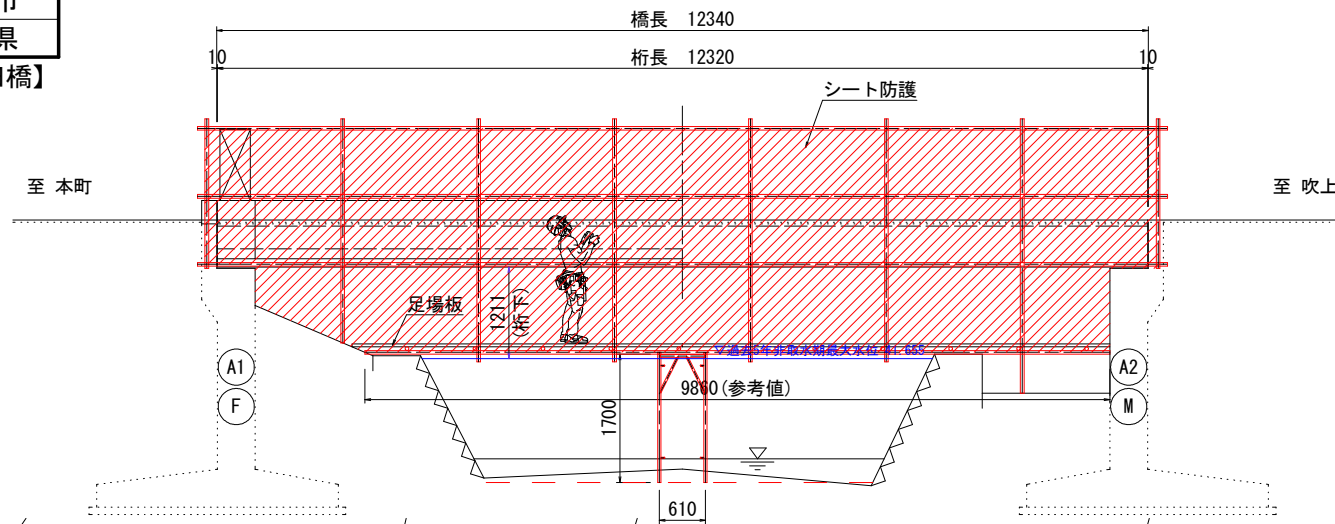
令和7年度			枇杷田橋橋梁補修工事		
工事番号		第 号			
路線名		吹上本町線			
施行箇所		平川市柏木町東田 地内			
仮設足場設置図(参考)			縮尺 図 示		
図面番号		業中			
平 川 市					
青 森 県					

11/11

仮設足場設置図(参考)

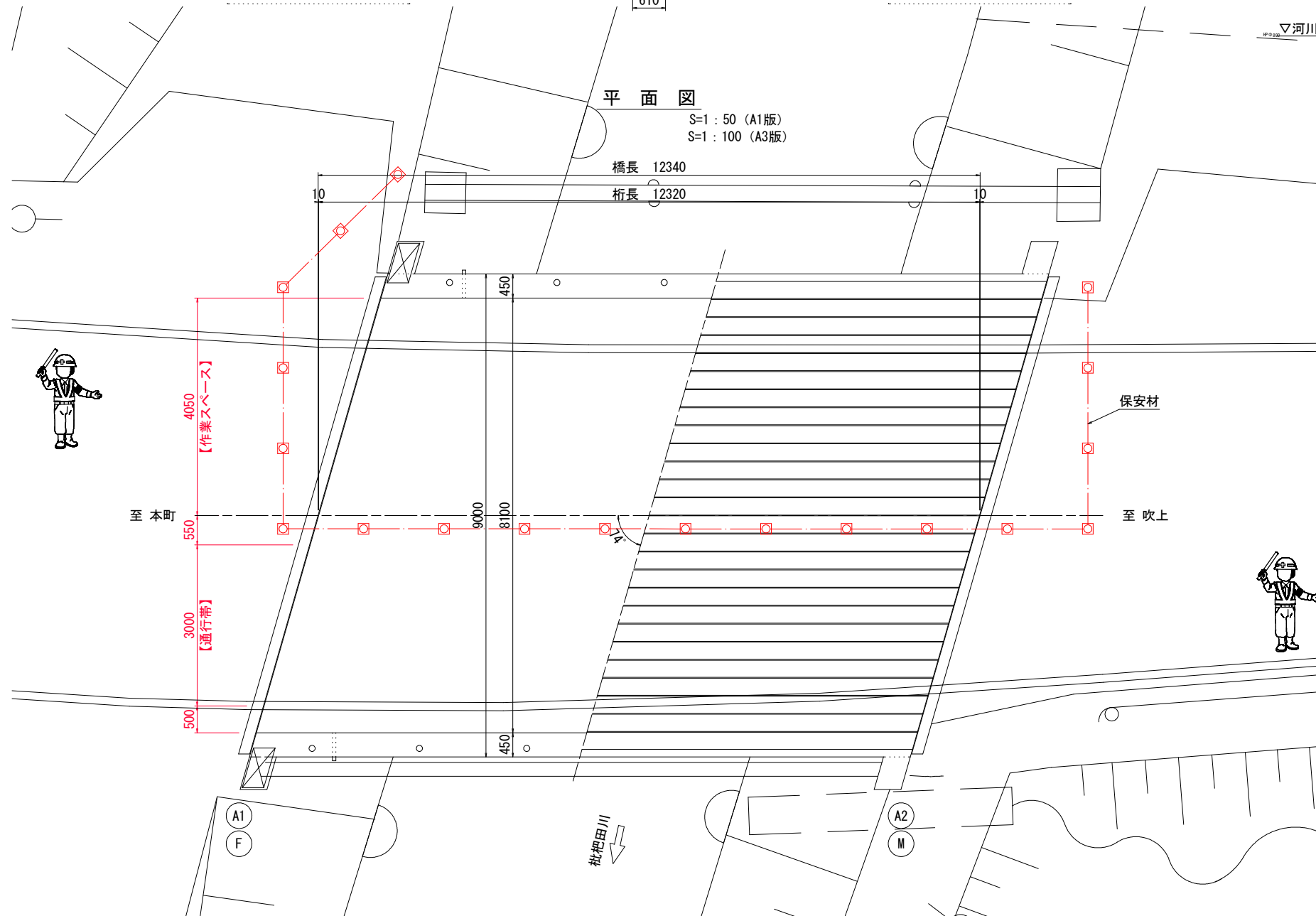
側面図

S=1 : 50 (A1版)
S=1 : 100 (A3版)



平面図

S=1 : 50 (A1版)
S=1 : 100 (A3版)



断面図

S=1 : 50 (A1版)
S=1 : 100 (A3版)

